

にらめっこ

発行責任者 廣瀬邦治 印西市木下東4-6-13
TEL/FAX 0476-42-5034 Eメール k_hirose839@ybb.ne.jp
印西・九条の会ホームページ: <http://inzai9jyounokai.webnode.jp/>



イラスト画 江里奈

戦争法廃止・立憲主義をとりもどす年に

2016年 新春

昨年は、安倍自公政権により憲法違反の安保法制（＝戦争法）という悪法が強行されましたが、戦争する国づくりに反対し平和を求める国民・市民共同の大きな運動がわき起こった年でした。

今年は、「ストップ！戦争する国」「ストップ！安倍暴走」の声をさらに大きくして、憲法9条破壊の安倍政権を退場させ、戦争法廃止・立憲主義回復の新しい政府をつくっていきましょう。

全国各地で、戦争法廃止をめざす共同の取り組みが広がっています。

安保法制に反対してきた諸団体の市民有志が12月20日、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」を結成しました。市民連合は、戦争法廃止の2000万人署名を共通の基礎に、①安保法制の廃止 ②立憲主義の回復 ③個人の尊厳を擁護する政治の実現に向けて野党共闘を求め、参議院選における候補者の推薦と支援を行う、としています。

また、12月23日には、参議院選挙の熊本選挙区で、戦争法廃止へ市民グループと5野党の結集で統一候補擁立が決まり、弁護士の阿部広美氏が立候補を表明しました。

～「にらめっこ」第100号を迎えて～

印西・九条の会ニュース「にらめっこ」は、第100号を迎えました。2005年6月12日に「会」が発足し、第1号が発行されました。以来10年間、憲法9条を守り生かすことを基本に、みなさんから沢山の投稿をいただき、発行を継続することができました。今後とも、みなさんに支えられながら200号をめざしていききたいと思います。そして、何よりも今、一日も早い戦争法の廃止をめざしていききたいと考えております。

「にらめっこ」は、平和を求める市民の市民による市民のためのニュースをめざします。

これからも一層のご支援をよろしくお願いいたします。

このいま、このわたしが問われている

彦坂 諦

「歴史はくりかえす、最初は悲劇として、二度目は『茶番劇 (ファルス) 』として」と、マルクスは、ヘーゲルを脱構築しながら、言っています。マルクスがこう皮肉ったのは、ルイ・ナポレオンが国民投票によって皇帝の座についていくありさまをつぶさに見ていたからです。

おなじナポレオンでもボナパルトのほうはフランス革命の闘士だった。その彼が、権力の座につくにおよんで、時代の流れに刃むかい、あろうことか皇帝にまでなってしまった。あきらかに悲劇です。しかしルイにはボナパルトのかがやきの片鱗すら見られない。この彼をおしたてた民衆の「夢よもういちど」は、端的に、「茶番劇 (ファルス) 」でしかなかった。こうした、フランス民衆のどうしようもないおろかさ、マルクスは慨嘆したのです。しかし、ひとごとではない。いま、わたしたちの眼前にくりひろげられているのは、まさに、この「茶番劇 (ファルス) 」にほかならないのですから。

いや、もっとひどい。なぜなら、わたしたちのこの列島で70年以上まえに演じられたのは、「悲劇」ですらなかった。それ自体すでに完璧な「茶番劇 (ファルス) 」でしかなかったからです。東条英機などという人物は、独裁者たりうるにはあまりに貧相な、学校秀才あがりの能吏にすぎなかった。この種の凡庸な能吏たちがよってたかっておろかな戦争につっこんでいき、「国民」を「殺し殺される者」たらしめた。

最初が「茶番劇 (ファルス) 」にすぎなかったとしたら、二度目はいったいなんと言わなければならないか？ しかも、いまその「茶番劇 (ファルス) 」をくりかえそうとしているのは、東条一味にくらべてさえ、あしもとにもおよばない、凡庸にして低劣な、能吏ですらありえない三下奴 (さんしたやっこ) どもにすぎないではないか。コッケイですらありえないこのような無惨に、わたしたちは、いま、直面させられている。

2016年は、わたしたちの生き (させられ) ているこの日本国という名の国家にとって、敗戦後70年のどの時期のどの社会にくらべても類を見ないほど無惨な時期として、のちの世の歴史にきざまれることになるでしょう。このいまの、この無惨を、どうのりこえることができるのか？ この問いこそ、このいま、このわたしに、わたしたちのひとりひとりに、つきつけられている、のではないのでしょうか？

安保法制(戦争法)の廃止をめざす印西の会 発足へ

安保法制(戦争法)の廃止をめざす印西の会(準備会)は、2015年12月13日、「会」の発足に向け、以下の申し合わせを確認しました。
呼びかけ人(団体)、賛同者(団体)を募っています。

安保法制(戦争法)の廃止をめざす印西の会 申し合わせ

1. 会の名称： 『安保法制(戦争法)の廃止をめざす印西の会』とする。
2. 会の目的： 安保法制(戦争法)を廃止すること。
3. 会の構成： 会の目的に賛同し自主的に参加する個人・団体等で構成する。
4. 会の活動： 宣伝、署名、対話、学習会、集会、パレードなど諸活動に共同して取り組む。
戦争させない・9条こわすな！総がかり行動実行委員会の主旨に賛同し活動する。
5. 会の財政： 募金を基本とする。
6. 会の運営： 定期的に、または必要に応じて実行委員会を開催する。
事務局長、事務局次長、および会計をおく。
日常的な連絡体制をとり、情報交換・意見交換を行う。
構成員の自主性は尊重され、自主的活動は妨げられない。

2015年12月13日

呼びかけ	年金者組合西いんば支部	(0476-46-7846)
	印西市平和行進実行委員会	(090-9801-1864)
	印西・九条の会	(0476-42-5034)
	新日本婦人の会印西支部	(0476-42-6635)
	コスモス健康友の会	(0476-42-4841)
	印西市平和委員会	(090-5825-2691)

12.20 安保法制を考える市民のつどい

～参加者の感想・意見より～

- 朗読と講演を聴き、これからの日本の行方に危機を感じた。私達一人一人が行動していかなければ。
- “茶色の朝”の朗読は今の日本のような話でした。講演は「憲法と法律の違い」など貴重な話でした。これからは頑張り時だと思いました。
- 是非定期的に開催して下さい。
- 持続的な活動を希望します。
- 今回のような集会の情報を周辺地域の九条の会などと連携してほしい。



萩原得誉弁護士の講演

ストップ! 戦争

第2回

安保法制を考える市民のつどい

日時：1月24日（日）

PM1:30 開場

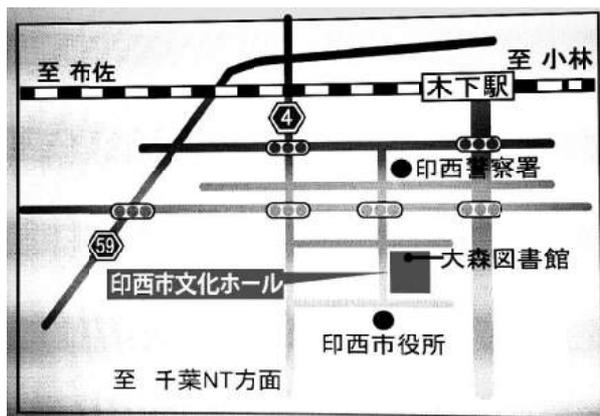
PM1:45 開会 PM4:15 閉会

会場：印西市文化ホール
2F 多目的室

講師：孫崎 享（うける）氏

元外務省国際情報局局長

参加費：300円



JR成田線 木下駅から
徒歩15分

～プログラム～

- ・ 講演 孫崎 享 氏
安保法制を考える
～憲法公布70周年を迎えて～
- ・ 質疑応答
- ・ 報告と提案
- ・ スピーチ・発言

【呼びかけ団体】

年金者組合西いんば支部	洪田真澄	(46-7846)
印西市平和行進実行委員会	早坂義郎	(090-9801-1864)
印西・九条の会	廣瀬邦治	(42-5034)
新日本婦人の会印西支部	志和共子	(42-6635)
コスモス健康友の会	伊藤和江	(42-4841)
印西市平和委員会	神沢俊一郎	(090-5825-2691)

（連絡先：廣瀬邦治 TEL/FAX 0476-42-5034 携帯 090-1706-2572）